

●マルダイらが「森林認証材委員会」を組織

ヒノキ材の積極活用へ

富士山 松輝(ひのき)で物流NW



富士山 松輝(ひのき)の刻印がある
認証材を囲む認証材委員会

マルダイ(富士市大
淵)、富士ひのき加工協
同組合と地域の木工・工
務店、設計事務所が、富
士山造住宅協会の下部
組織「森林認証材委員

挑戦
チャレンジ
する企業

会」を組織し、国際基準
に準じた持続可能な森林
認証(SGEC)の認証
を受けた日本製紙の富士
山ろく林から出るヒノキ
材を、住宅に活用する物
流ネットワークを構築し
た。また、森林認証材委
員会の認証を受けて「富
士山 松輝(ひのき)」
としてブランド化した。

対象林は、富士宮市の
日本製紙北山社有林で、
年間産出能力は4000
立方メートル前後。ヒノキ材
は、SGEC総合管理マ
ニュアルに従い、富士ひ
のき加工協同組合が製材
・加工、マルダイがプレ
カット工場で実際の住宅
建築で使う寸法の材料に
加工し、木工・工務店が
住宅に使用する。森林か
らエンドユーザーまでの
循環システムを構築した
かたちだ。ヒノキ材を対
象にしたシステムは、全
国でも珍しく、県内では
初めて。さらに森林認証
材委員会では、適切に管
理された森の木(地元産
の富士山ヒノキ)を積極
的に住宅づくりに採用

し、CO₂排出量削減に
貢献しようとしている。
森林認証材委員会のメ
ンバーは、建築工房わた
なべ(富士市)、LOH
AS(富士市)、エコフ
ールド(富士市)、澤
田建築(富士市)、大功
建設(静岡市清水区)、
ダイアリビング(長泉
町)、植松一級建築士事
務所(沼津市)、工藤建
設(沼津市)、三和建設
(静岡市清水区)、常木工
務店(静岡市駿河区)、
マルダイ(富士市)、富
士ひのき加工協同組合で
構成。